



ご挨拶

公益財団法人愛媛県体育協会会長 大 亀 孝 裕

子規の野球殿堂入りを記念して創設された「スポーツ俳句大賞」は、関係の方々のお力添えにより本年で十一回目を迎えることができました。心から感謝申し上げます。この「スポーツ俳句大賞」はスポーツと文化が融合した新しい芸術文化を全国に発信するだけでなく、「スポーツ俳句」を愛媛ブランドとして定着させることを目指しております。

今回応募いただいた俳句は、一般の部で二千六百九十四句、ジュニアの部で一千五百七十五句、ハイブリッド（写真俳句）部門は六十四点（計四千三百三十三句・作品）もの多くの応募をいただきました。さらに、地域的にも全国四十一都道府県からの応募があり、「スポーツ俳句」という文化が徐々にではありますが、愛媛ブランドとして全国に浸透してきたといえます。

本年より、応募競技を十三種類から、四十一種類へと変更いたしました。これは四年後に開催されます「愛顔つなぐえひめ国体」の競技数となっており、スポーツ俳句を通じて、スポーツ選手だけでなく、あらゆる方にえひめ国体に関心を持っていただき、さらにはえひめ国体で活躍する選手たちを応援することができれば幸いです。

毎年ありますが、「第十一回えひめスポーツ俳句大賞」がこのように盛大に開催できましたのは、愛媛県俳句協会をはじめ、審査員の方々、各賞・宿泊券・松山銘菓等をご寄贈いただきました報道関係団体、有名ホテル、有名菓子舗、この他にも協力・協賛・後援をいただきました団体・企業等の関係の皆様方のご支援によるものであります。心より厚くお礼を申し上げます。

また、今回も多数のご応募があり、審査員の先生方もご苦労されたことと思います。たくさんのお素晴らしい作品をお寄せいただいた応募者の皆様方に敬意を表します。それでは、「えひめスポーツ俳句大賞」の発展と「愛顔つなぐえひめ国体」の成功を祈念して挨拶いたします。